

# 杉崎荒太

Arata Sugisaki



Untitled (不変) 162×130cm

「媒材を混合し描写した『不変』は、色彩や形態に包摂する思想を観る者の想像に委ねる。世界の何処かの大都市での雨の一夜であろうか？ 銀座、タイムズスクエア、それともキングスクロスなのか？ 赤いネオンは雨で滑る道路上に閃光した熱烈な十字架のようで、道路では喪失・孤独・危険を背にし、若者・大人達が放浪する。ナイトクラブ・レストラン・ファーストフード店・バー・ストリップ劇場・ゲームセンターなどの燦然とした光が片側から放たれ、道路をさまよう人影のような醜な姿。この大都市のある夜は夜の魂であり、天国と地獄、夢と現実、避難と危険の交差点である。生者と死者の不変の場所である。救世の光を放つ十字架は作品の上方と背後で「私の所へおいでなさい。あなたの心配を取り払い、苦難を忘れさせてあげましょう」と囁いている。だがこれはパーテンダーやドラッグディーラーの声、それとも救世のため送られた天使の声であろうか？ この真実を知る者は誰もいない。

(ケイト・コリンズ)

私の表現には、バブル期崩壊から深刻な不況下にある現在にわたり、変容してきた生活概念と“病み”の家族の構図を持つ社会問題に対して、人間性の欠如した人格形成を容易にする精神的生態系の存在という側面からの警鐘が意図されています。(作家談)

1959年東京都に生まれる。愛知県立芸術大学卒業。いなざわ公募展（荻須記念美術館）優秀賞。新象展・独立展出品。個展開催（東京、銀座）。